



トッパンが描く
「ふれあい豊かでサステナブルなくらし」

TOPPAN SDGs
STATEMENT

CONTENTS

01

トップメッセージ・・・・・・・・・・ 04

02

トッパンのマテリアリティ・・・・・・ 08

03

トッパンが描く
「ふれあい豊かでサステナブルな暮らし」・・・・・・・・ 10

04

全社活動マテリアリティ・・・・・・ 12
・環境配慮・持続可能な生産
・従業員の健康・働きがい

05

事業活動マテリアリティ・・・・・・・・ 16
・サステナブルな地球環境
・安全安心で豊かなまちづくり
・心と身体の豊かさと人のエンパワーメント

06

SDGs推進体制・・・・・・ 24
・推進体制
・SDGs達成に向けたリスクチェック

07

未来へ・・・・・・・・・・ 26

トッパンとSDGs

～「社会的価値創造企業」を目指して

トッパンは、1900年の創業以来、印刷技術を原点に社会の要請の変化に柔軟に対応しながら事業展開を図ってまいりました。100周年を迎えた2000年には「情報・文化の担い手として ふれあい豊かな暮らし」に貢献することを「企業理念」として掲げた「TOPPAN VISION 21」を制定し、更に2016年には新たな「事業領域」を定め、「社会的価値創造企業」を目指し進化を続けています。

今、私たちはまさに時代の大きな転換期に直面しており、地球的規模で関心が高まる気候変動などの大きな課題を前にして、企業は全力でその解決に取り組まなければなりません。2015年に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)が示す2030年までに解決すべき課題に対し、私たちはどのように取り組み、貢献すべきか検討する中で、その道筋はトッパンのこれまでの歩み、目指す姿とまさに方向を一にしていると思いを新たにすることができました。「社会的価値創造企業」の実現に向けた4つの成長領域とSDGsが示す課題を掛け合わせたとき、トッパンが目指す姿はより明確となり、我々の更なる成長へのエンジンが加速します。

私たちは、この“TOPPAN SDGs STATEMENT”において、SDGsの17目標の中から特に重視する目標(マテリアリティ)を選定し、2030年に向かってそのマテリアリティに真摯に取り組むことにより、「社会的価値創造企業」を実現してまいります。

凸版印刷株式会社
代表取締役社長

磨 秀 晴



本ステートメントについて

TOPPAN SDGs STATEMENTは、トッパンが選定したSDGsのマテリアリティ（重要課題）、およびその選定にあたっての考え方と実現に向けたストーリーを、ステークホルダーの皆さまと共有し、SDGsの取り組みを通じた「社会的価値創造企業」の実現を加速させることを目的としています。

ここで公表するSDGsマテリアリティは、トッパンの「企業像」と「4つの成長領域」に合致し、トッパンの技術やノウハウを活用することで、ステークホルダーの皆さまとともに新たな価値を創造することができる領域から選定しました。

今後トッパンの各部門において戦略的に取り組みを進めるとともに、定期的にフォローアップと検証を行います。そのための仕組みについても、「トッパンのSDGs推進体制」として記載しました。

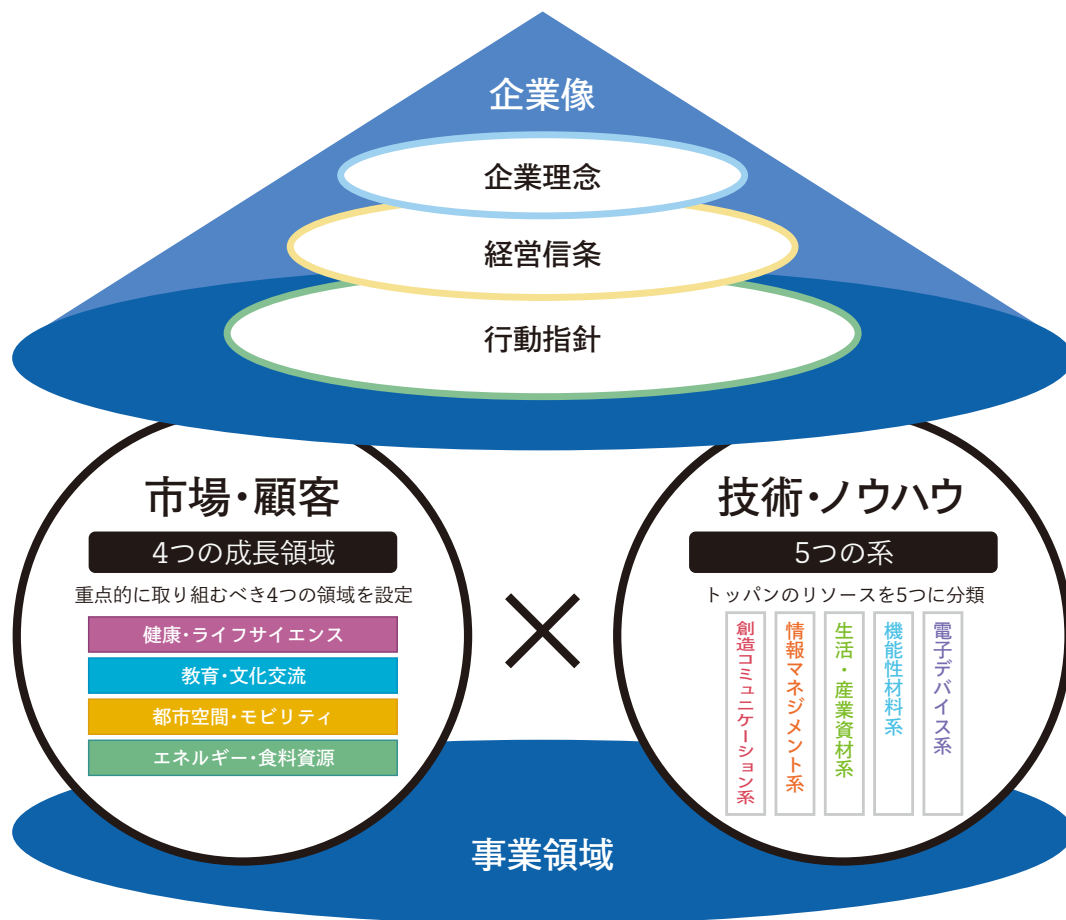
私たちトッパンは、本ステートメントで示した考え方をもとに、ふれあい豊かなくらしに貢献する「社会的価値創造企業」を目指します。



TOPPAN VISION 21

TOPPAN VISION 21は、トッパングループで働く私たち一人ひとりがよりどころとすべき価値観を示し、目指すべき目標を共有するためにあります。

基盤となる価値観を表した「企業像」と将来の方向性を示す「事業領域」から構成されています。



「企業理念」では、「常にお客様の信頼にこたえ」、「ふれあい豊かなくらしに貢献する」とのトッパンの最も基本的な考え方を示しています。

「経営信条」では、「社会的責任」、「地球環境との調和」、「公正で開かれた企業活動」、「働きがいのある企業風土」、「グループの持続的な発展」という5つの視点から企業活動を推進することを宣言しています。

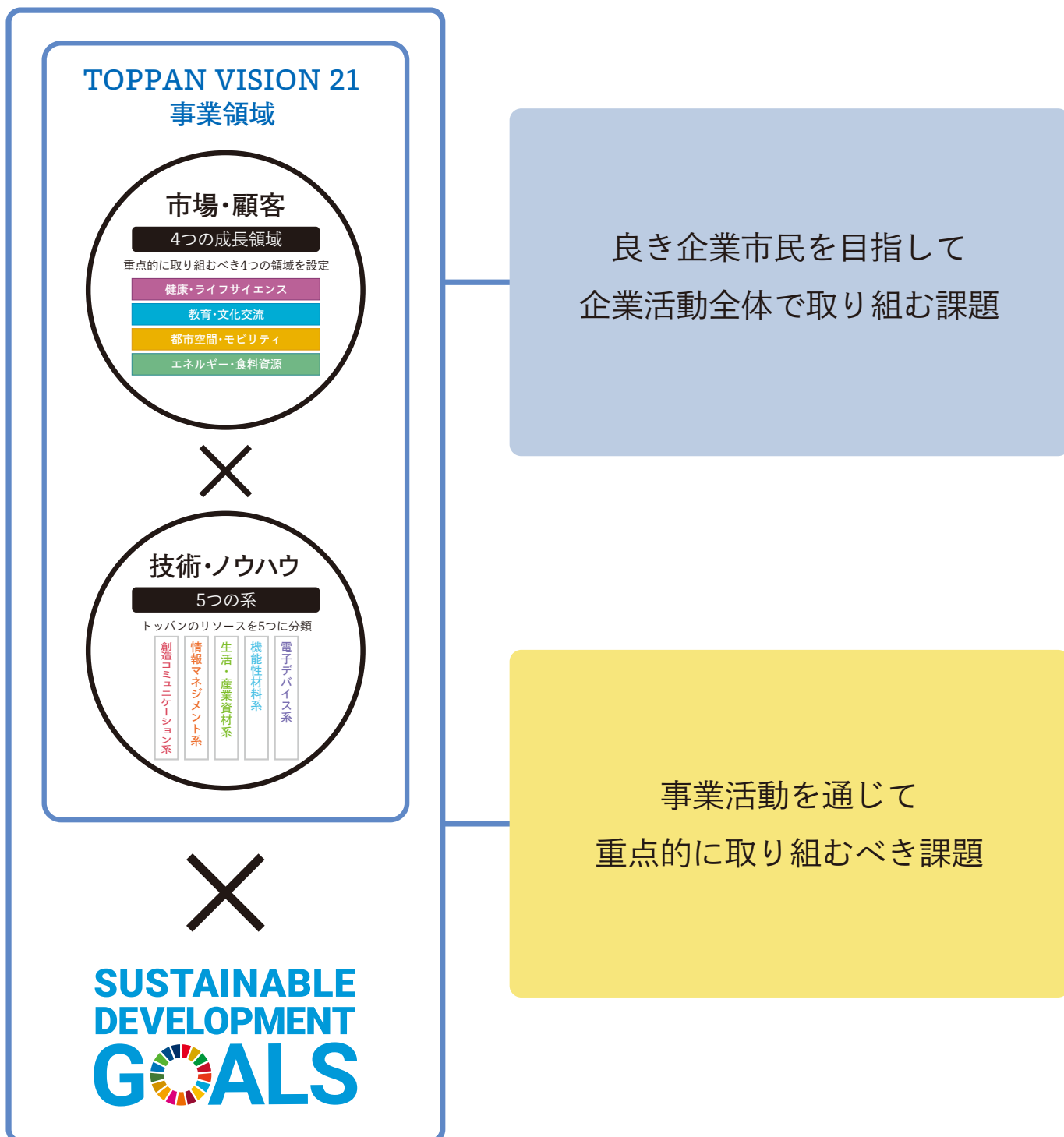
私たちは、これらが示しているトッパンの「企業像」は、SDGsの示す「企業のあるべき姿」とたいへんよく調和していると考えています。

※「企業理念」「経営信条」「行動指針」の詳細については、以下のURLをご参照下さい。

URL:<https://www.toppan.co.jp/about-us/philosophy/>

選定基準

マテリアリティの選定にあたっては、私たちの活動の原点であるTOPPAN VISION 21の「企業理念・経営信条・行動指針」を出発点とし、そこに長期的視点でグローバルな社会的課題を示したSDGsの考え方を取り入れました。その上で、良き企業市民を目指すために重視すべき、企業活動全体で達成を目指す「全社活動マテリアリティ」と、トッパンの事業活動を通じてSDGs課題の解決に貢献する「事業活動マテリアリティ」を選定しました。



選定プロセス

マテリアリティは、この選定基準をもとに、社内各部門との意見交換を通じて網羅的に企業活動を精査することで選定し、さらに社外有識者やステークホルダーへのヒアリングによって妥当性の検証を行いました。最終的には経営層との議論および意見交換を経て、取締役会での承認により決定しています。

全社活動マテリアリティ



事業活動マテリアリティ

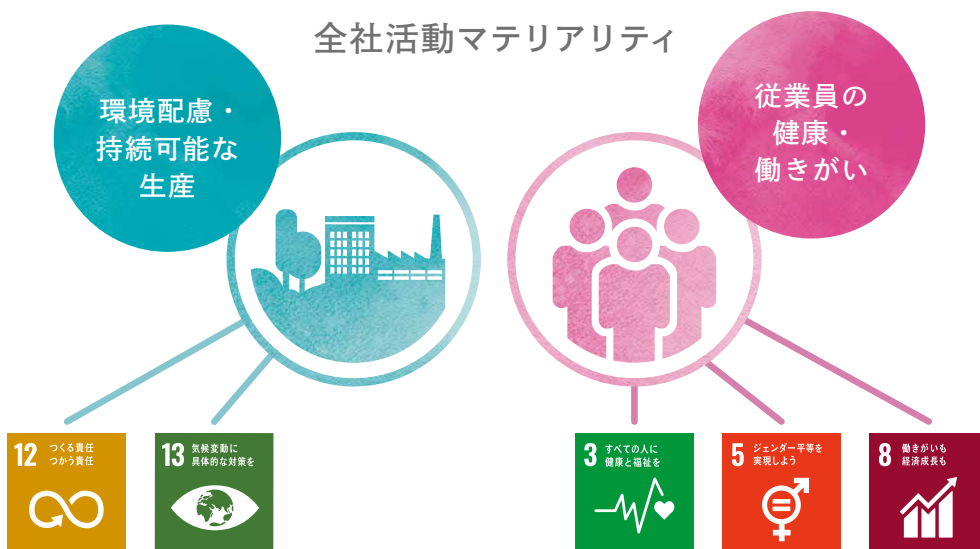


トッパンが描く 「ふれあい豊かでサステナブルな暮らし」

事業活動マテリアリティ



全社活動マテリアリティ



私たちは、本ステートメントを通じて実現する社会を

「ふれあい豊かでサステナブルな暮らし」と考えました。

これはトッパンがSDGsの目標達成年度である2030年に向けて目指すべきゴールです。

そして、このゴールを実現するために、

私たちは各マテリアリティの関係性を次のように整理しました。

◇全社活動マテリアリティ

- ・環境配慮・持続可能な生産
- ・従業員の健康・働きがい

◇事業活動マテリアリティ

- ・環境（サステナブルな地球環境）
- ・まち（安全安心で豊かなまちづくり）
- ・ひと（心と身体の豊かさと人のエンパワーメント）

全社活動マテリアリティの2つのグループは、事業活動の基盤として、
事業の3つのグループをしっかりと支えます。

事業活動マテリアリティの3つのグループは、

それぞれが「ふれあい豊かでサステナブルな暮らし」に貢献するものです。

また各グループが相互につながることで、その活動はさらに広がっていきます。

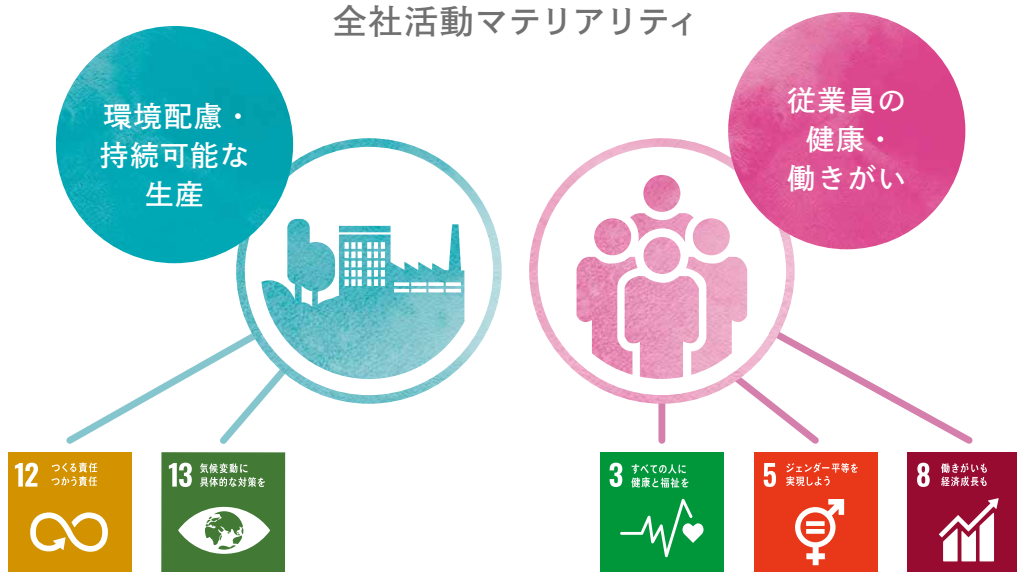
ここに、トッパンならではのSDGsストーリーがあります。

全社活動マテリアリティ

事業活動マテリアリティ



全社活動マテリアリティ





トッパンが目指す姿

トッパンは、1992年に環境保全活動の基本理念として「凸版印刷地球環境宣言」を定めました。2009年4月には、将来にわたってあらゆる生命が存続できる持続可能な社会の実現を目指し、この宣言をグループ全体の活動の基本理念「トッパングループ地球環境宣言」へと改め、より積極的に環境保全に配慮した企業活動を進めています。

これからも、トッパンはこの地球環境宣言で示した「未来を見据えた地球環境の保全に配慮した企業活動を通じて、持続可能な社会の実現に努めます」という姿勢を堅持し、国際社会の一員として、地球全体の環境保全に貢献していきます。

目標

<2030年度中長期温室効果ガス削減目標>

2030年度を目標年としたトッパングループ全体の温室効果ガス削減目標をScope1,2,3(※)を対象に設定し、その達成に向けて取り組んでいきます。(国際的イニシアチブ「SBT(Science Based Targets)」認定)

| Scope1 + Scope2を対象とした 温室効果ガス削減目標 | Scope3を対象とした 温室効果ガス削減目標 |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 2017年度比 30%削減 | 2017年度比 20%削減 |



※Scope1: 自社での燃料の使用や工業プロセスによる直接排出

Scope2: 自社が購入した電気・熱の使用に伴う間接排出

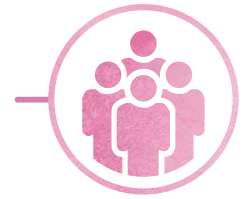
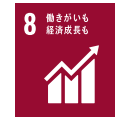
Scope3: Scope1およびScope2以外の間接排出(サプライチェーンを含む事業者の活動におけるその他の排出)

<2020年度中期環境目標>

2020年度を目標年とした「CO₂ 排出量」「廃棄物最終埋め立て量」「VOC大気排出量」の3項目の削減目標を国内環境目標対象事業所に設定し、その達成に向けて取り組んでいます。

| ① 地球温暖化防止 | ② 循環型社会形成への対応 | ③ 大気環境保全 |
|---|--|---|
| CO ₂ 排出量を 2008年度比 30%削減 (751千t → 530千t : ▲221千t) | 廃棄物最終埋め立て量を 2008年度比 95%削減 (1,584t → 80t : ▲1,504t) | VOC大気排出量を 2008年度比 70%削減 (7,326t → 2,198t : ▲5,128t) |

従業員の健康・働きがい



トッパンが目指す姿

トッパンは、従業員を会社の貴重な財産、すなわち「人財」と捉え、従業員が「やる気」「元気」「本気」の3つの「気」を持つことでそれぞれの力を十分に発揮することが大切だと考えています。

こうした考え方のもと、2015年には「健康経営宣言」を定め、従業員のさらなる健康の保持・増進に取り組んでいます。また、多様な人財が能力を最大限に発揮して働きがいを感じる企業風土づくりを信条とし、ダイバーシティマネジメントの実現に向けた様々な取り組みを行っています。

これからもトッパンは、2030年、さらにその先を見据え、従業員一人ひとりがより長く、健康的に、能力を最大限に発揮しながら働きがいを感じられる職場環境づくりを目指し、取り組みを強化していきます。

目標

従業員の健康づくり

～70歳まで健康に働くために

<重症化予防(2030年度目標)>

従業員の重症リスク削減および健診受診率の各目標値を設定し、その達成に取り組んでいきます。

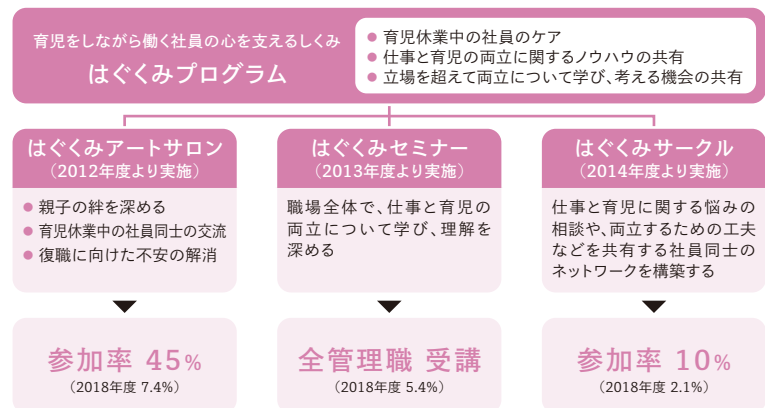
| | | 項目 | 2030年度目標 ()内は2018年度比増減 | 国の統計値※ |
|-----|-------|-----------|----------------------------|-------------------------|
| 従業員 | 重症リスク | 肥満リスク | 20.0%(4.7ポイント減) | 25.8% |
| | | 高血圧リスク | 8.0%(2.5ポイント減) | 16.1% |
| | | 糖尿病リスク | 8.0%(2.3ポイント減) | 11.7% |
| | | 脂質リスク | 28.0%(5.9ポイント減) | 31.8% |
| | 検診 | 婦人科検診受診率 | 75.0%(14.3ポイント増) | 乳がん 44.9% 子宮がん 42.4% |
| 家族 | 健診 | 家族特定健診受診率 | 95.0%(12.3ポイント増) | 48.7% |

※出典 肥満リスク：厚生労働省平成29年度国民健康・栄養調査_概要
高血圧、糖尿病、脂質：厚生労働省平成30年度定期健康診断結果報告
婦人科検診：厚生労働省平成28年国民生活基礎調査の概況
家族健診：厚生労働省平成29年 特定健康診査・特定保健指導の実施状況について【概要】

ダイバーシティマネジメントの実現

<仕事と育児の両立支援(2030年度目標)>

仕事と育児の両立支援「はぐくみプログラム」における2030年度目標を設定し、多様な人財が長く働き続けられる企業風土づくりに取り組んでいきます。



<ジェンダー格差の解消(2030年度目標)>

| 男女別 管理・監督職者数比率 | 男性社員の育児休業取得率 | 10年在籍率の男女別割合 |
|----------------------|-----------------|----------------|
| 男女別の管理・監督職者比率の格差をなくす | 男性社員育児休業取得率 80% | 10年在籍率の男女差をなくす |

(参考) 2018年度
2000年～2009年入社 管理・監督職者数比率
女性 54.4% 男性 77.3%

(参考) 2018年度
男性社員育児休業取得率 59.5%

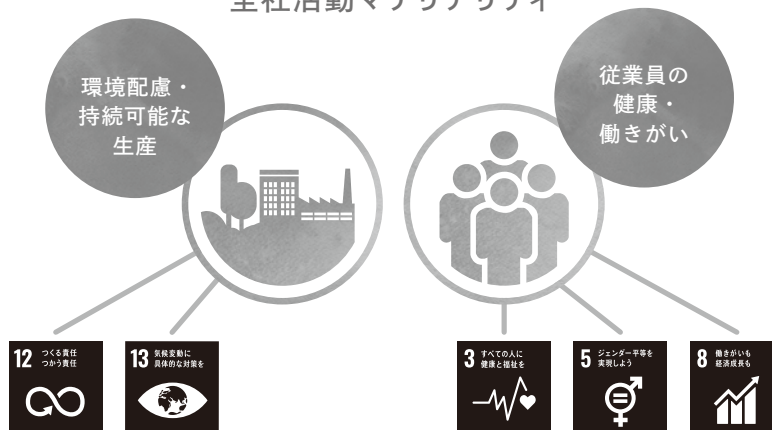
(参考) 2018年度
2009年入社 10年在籍率
女性 62.2% 男性 69.8%

事業活動マテリアリティ

事業活動マテリアリティ



全社活動マテリアリティ



サステナブルな地球環境

世の中の課題とトッパンが目指す姿

今日、地球全体におよぶ気候変動や海洋汚染、森林破壊などは、世界中の人々の暮らしに大きな影響を与えており、特に海洋プラスチックごみや食品ロスなどは国際的な問題となっています。こうした環境問題は、1900年の創業時からパッケージ(包装資材)事業を手掛けるトッパンにとっても大きな課題です。

トッパンのパッケージ事業では、透明バリアフィルム「GL BARRIER」や紙製飲料容器「カートカン」の開発に始まり、今日に至るまで多種多様な環境配慮型パッケージを開発・提供してきました。また、建装材事業においても「101エコシートシリーズ」などの環境配慮型製品を多数ラインアップし、環境に優しいモノづくりに取り組んでいます。

今後も、環境配慮のモノづくりを強みとしながら、マーケティングプロモーションなどコトづくりの力も掛け合わせることで、新たな事業の創出を目指します。

2030年も、その先も、私たちが変わらず豊かな暮らしを続けられるように、「サステナブルな地球環境」の実現に貢献していきます。

「サステナブルな地球環境」を実現する新たな事業アイデア

idea01

パッケージリサイクルシステムの普及促進

企業や自治体との共創でよりリサイクルしやすい仕組みづくりに貢献し、その普及促進に取り組む。また、リサイクルの仕組みに適した新素材の開発や包装材設計を行う。



idea02

CO₂を削減する「光合成する家」

建物の内外装に使われる建装材に、光エネルギーを利用して二酸化炭素を吸収する光合成機能を付与。空気中の二酸化炭素量を削減する家をつくる。

idea03

食品ロスを削減する

スマート流通サプライチェーンの開発

食品業界のサプライチェーンにおける在庫や配送の情報を可視化し、精度の高い在庫管理や需要予測を可能にする「スマート流通サプライチェーンシステム」を開発する。

idea04

包装資材に関する環境技術レポートの発行

プラスチックごみや食品ロスの問題など、包装資材と関連性の高い世界的な環境課題について、パッケージメーカーとしての専門的な知識・ノウハウを活かし、科学的知見に基づいた包装資材の環境技術レポートを定期発行する。

idea05

サステナブルな販売の仕組みづくり

「シャンプー自販機」

シャンプーを量り売りで自動販売する「シャンプー自販機」を店頭設置し、消費者がマイ容器を持参して購入することで、必要最低限の包装資材によるサステナブルな商品販売の仕組みを構築する。

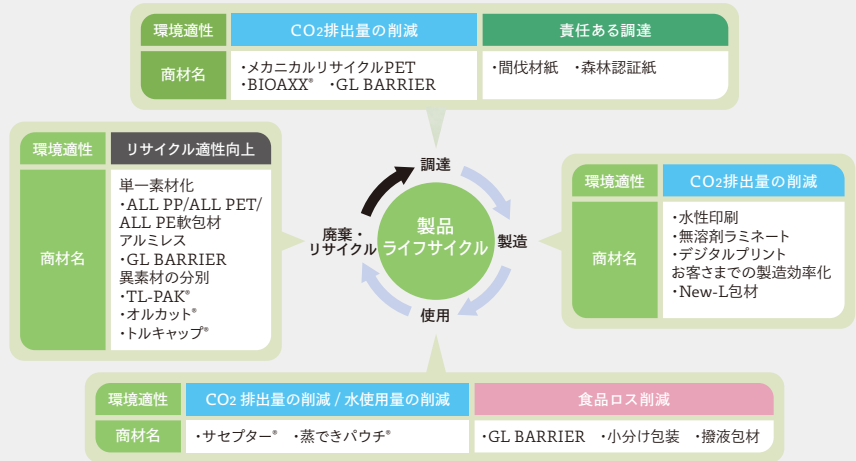




取り組み事例

サステナブルパッケージソリューション

グローバルな環境課題に対し、トッパンでは、調達から廃棄・リサイクルまでの製品ライフサイクルの各段階で課題解決に貢献する各種容器包装・技術をラインアップ。トッパンの「サステナブルパッケージソリューション」として提供しています。



Column 01

つながるストーリー「環境」から「まち」「ひと」へ

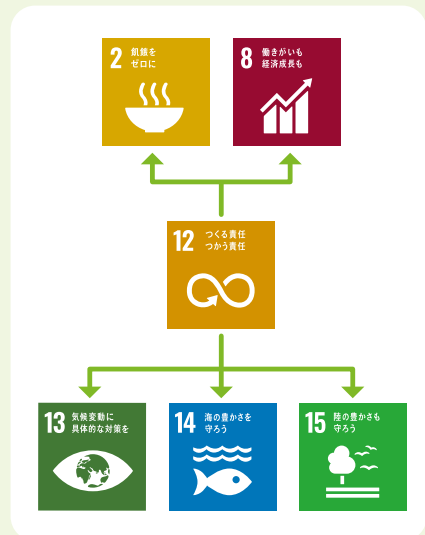
データを活用するスマート流通サプライチェーンが食品ロスを削減する

近年、先進国を中心に食品の廃棄が重要な社会問題となっています。これは食品や飲料の包装資材を扱うトッパンにとっても大きな課題です。この問題の解決に貢献するために私たちが考えた事業アイデアのひとつが、「スマート流通サプライチェーン」です。

トッパンはこれまで、世界中で2万社を超える様々な業界のお客さまと事業を行ってきました。このネットワークをもとに、サプライチェーン上に発生する様々なデータと地域のイベント情報や気象情報を組み合わせ、ダイナミックプライシングシステムや正確な需要予測を実現し、食品ロスの削減を可能にします。

本当に必要な量だけを生産・流通させることができれば、温暖化ガスや包装資材を削減することにもつながります。さらに、この持続可能な食糧生産システムは、生産者、加工業者、物流業者、小売業者、廃棄物処理業者の無駄な作業を減らすことで労働環境の改善に貢献します。

生産者から消費者までみんながつながることで、食品ロスという地球的な課題を解決する。それがトッパンが考えるストーリーです。



安全安心で豊かなまちづくり

世の中の課題とトッパンが目指す姿

日本では、世界に先駆けて少子高齢化・都市への人口集中が進み、まちの未来に関わる多くの課題があります。また、災害に強く安全なまちづくりは、日本だけでなくグローバルな課題です。

トッパンでは、これまでもまちが抱える様々な課題に対する各種サービスを提供してきました。多言語音声翻訳サービスによる訪日外国人や外国人就労者とのコミュニケーションのサポートや、寺社仏閣や城などの歴史的建造物をVR(バーチャル・リアリティ)技術で保存し、さらには観光資源化するなど、積極的に豊かなまちづくりに取り組んでいます。またこのVR技術は、工場や建築現場での安全教育や、災害時の避難訓練などにも活用されています。

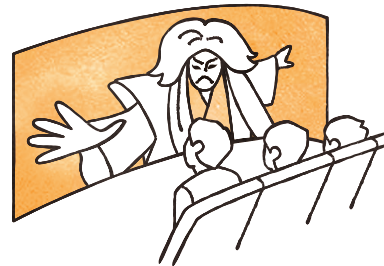
これからのトッパンも、今まで培ってきた知見・ノウハウを活かしながら、「安全安心で豊かなまちづくり」に貢献していきます。

「安全安心で豊かなまちづくり」を実現する新たな事業アイデア

idea01

伝統芸能を疑似体験できる「無形文化財 体験VR」

人々の動きまでアーカイブし、VRの中に再現。伝統芸能や祭りの踊りなどの無形文化をいつでも体験できる「バーチャル コトづくり」観光スポットを開発する。



idea02

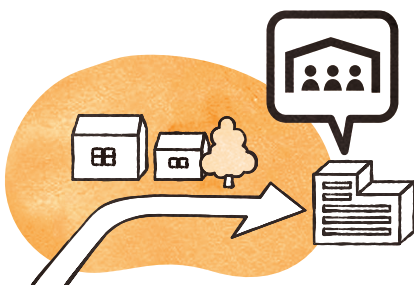
まちに暮らす人々をつなぐ、 地域コミュニティ形成の支援サービス

多様な人々がまちを形成する一方、住民同士のつながりがより希薄化する中で、だれもが安心して心豊かに暮らすために地域コミュニティの重要性が増している。多言語コミュニケーション技術の活用や地域社会との連携により、地域コミュニティ形成を支援する各種サービスを展開する。

idea03

超スマート社会での安全を確保する、 新たな個人認証技術の確立

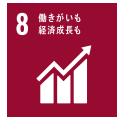
通勤・通学などの行動履歴データを基にした個人認証技術を社会実装する。パスワードを覚えるわずらわしさや盗まれる心配から解放されることで、便利で安全な生活をサポートする。



idea04

ハードとソフトの両面からレジリエントなまちづくりを支援

難燃・不燃性の高い建装材や新たな防災資材などに加え、災害時の最適避難経路の誘導システム、地域住民の防災意識を高めるコンテンツ、有事の際に住民同士が助け合えるサービスなどを提供する。ハードとソフト両面から災害に強いレジリエントなまちづくりを支援する。



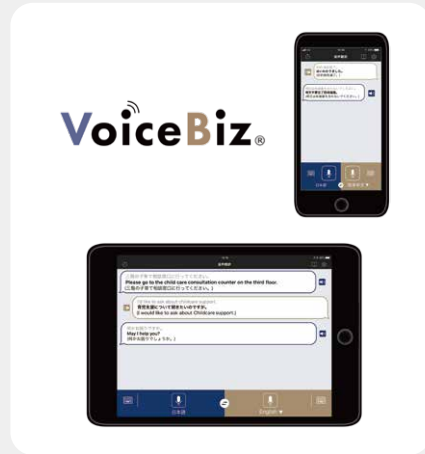
取り組み事例

音声翻訳サービス「VoiceBiz® (ボイスビズ)」

「VoiceBiz®」は、訪日外国人や外国人就労者との多言語コミュニケーションを支援する音声翻訳サービスです。

音声翻訳エンジンには、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)が開発を進める、深層学習を用いたニューラル翻訳(NMT)技術を採用しています。また、固有名詞や定型文を翻訳サーバに登録することで、より使いやすいサービスにカスタマイズすることが可能です。

スマートフォンの専用アプリに話しかけると、30言語の中から選択した言語に翻訳し、音声やテキストを出力します。自治体や学校を中心に導入が進んでいます。



Column

02

つながるストーリー「まち」から「ひと」「環境」へ

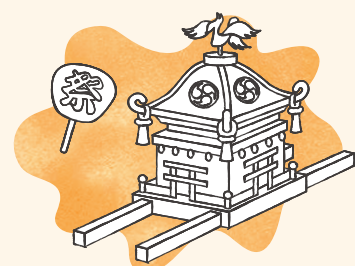
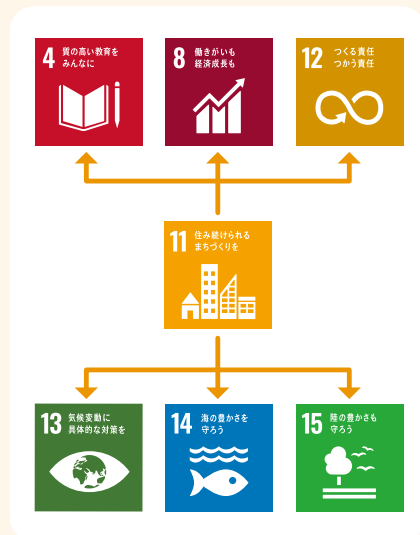
地域無形文化の保存・復元が、「まち」を元気に、そして「ひと」を豊かに

都市への人口集中と地方の過疎化が進む日本では、「地方創生」は大きな課題です。トッパンはこれまでも、歴史的建造物や文化財を、徹底した学術考証とVR技術で保存・復元し観光に活かすなど、地域活性化に貢献してきました。

こうした文化財の保存・復元は、有形文化財に限るものではなく、方言、郷土料理、祭り、地域の風習といった無形文化も対象になります。トッパンは、未来に残したい無形文化を、体験型コンテンツとすることで、地域の人だけでなく、地域外の人たちと交流するお手伝いをします。

地域に伝えられている風習には、昔から自然と調和して暮らしてきた日本人の知恵が詰まっています。

トッパンのコミュニケーション技術や教育事業での経験を活かしてこれらのコンテンツを効果的に発信することで、地域の人々や子どもたちが、地域を知り、自然と親しみ、心豊かにくらす力を醸成します。地域に根差した文化を未来に伝え、「まち」を元気に、そして「ひと」を豊かにする。それが、トッパンの考えるストーリーです。



心と身体の豊かさと 人のエンパワーメント

世の中の課題とトッパンが目指す姿

少子高齢化が進む社会では、ただ寿命を延ばすことだけでなく、心身ともに健康でいられることが重要です。

トッパンはこれまで、教育や保育に関わる事業を積極的に推進すると同時に、まちぐるみで住民の健康増進をサポートする健康ポイント事業などを提供してきました。

これからもさらにこうした考え方を推し進め、教育コンテンツ開発力や色彩技術などを活用した心身の豊かさを後押しするサービスや、企業などの組織がそこに属する人々の健康をサポートするための仕組みを提供し、トッパンらしい形で「心と身体の豊かさと人のエンパワーメント」に貢献していきます。

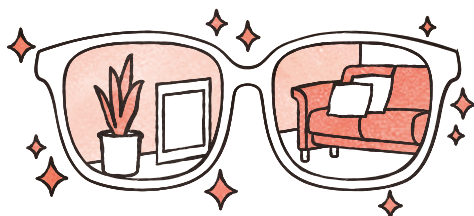
「心と身体の豊かさと人のエンパワーメント」を実現する新たな事業アイデア



idea01

「生き抜く力」を育てる教育プログラム

知識を問うテストでは測れない、「やり抜く力」「社会性」「自己肯定感」など人間が心身ともに健全に生きるために必要な力～非認知能力～を育成する新たな教育プログラムを開発する。



idea02

健康な暮らしをつくる「色彩空間」

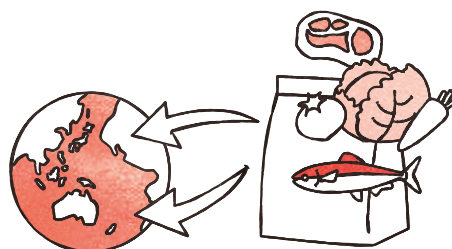
心も身体も癒す最適な色を一人ひとりの体調などに合わせて導き出し、その色を用いた心身安らぐ空間をメガネ型ウェアラブルデバイスを用いて再現するといった、色彩技術を活用したサービスを提供する。



idea03

飢餓に苦しむ人々を助ける食品パッケージの グローバル展開

飢餓に苦しむ人々に安全安心な食品を届けるために、高耐久で超長期保存が可能な優れた包装資材を開発し、開発途上国を含めグローバルに展開する。



idea04

自宅で処方箋や服薬指導を受けられる 「オンライン薬局」の構築

都市に住む人々だけでなく、薬局・薬剤師の不足している地域に住む人々も取り残さず、全ての患者の服薬環境向上を目指し、自宅にいながら処方箋と服薬指導が受けられる「オンライン薬局」を構築する。





取り組み事例

「臨床美術」プログラム

医師と美術家とカウンセラーが共同で開発した独自のアートプログラムメソッド「臨床美術(※)」。参加者は、資格を持った臨床美術士とともに、創作活動を通じて、楽しみながら脳やこころを活性化させることができます。認知症の予防や症状の改善、働く人のストレス緩和や、子どもたちへの感性教育への活用などにより、豊かでいきいきとした社会の実現を目指しています。



※「臨床美術」プログラムは、トッパングループの株式会社芸術造形研究所のサービスです。

Column

03

つながるストーリー「ひと」から「まち」へ

「オンライン薬局」と「健康増進プログラム」が まちの未来をつくる

日本は平均寿命84歳を誇る長寿国ですが、近年は、独居高齢者世帯の増加や過疎化による公共交通網の縮小によって、病院や薬局のサービスを満足に受けることが難しくなっています。

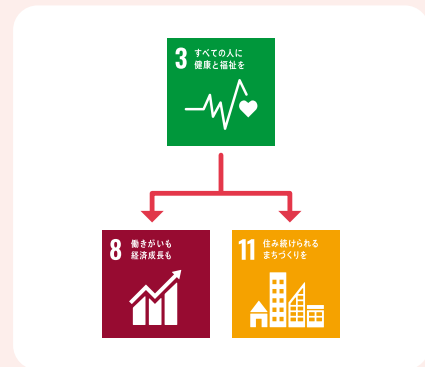
誰一人取り残さず、安心して病院や薬局のサービスを受けられるようにする解決策のひとつが「オンライン薬局」です。

これまで人手に頼ってきた処方箋の発行から調剤、処方薬の提供までの工程を自動化・オンライン化することで、患者の利便性の向上、病院や薬局の業務効率化を実現します。そのことにより、医療機関の少ない高齢化・過疎化が進む地域の自治体の課題解決にも貢献します。

また、「オンライン薬局」があれば、混雑している病院や薬局に通う必要がありません。そうして生まれた時間を、さらに健康長寿のために使う提案のひとつが、トッパンが提供する「健康増進プログラム」です。

「健康増進プログラム」は、地域の観光資源を周遊させるウォーキングイベントなど、商店街や地域社会を巻き込んだ「まちの活性化」につながるよう設計されています。

「オンライン薬局」や「健康増進プログラム」が広まることで、誰一人取り残さず、「ひと」も「まち」もサステナブルに未来につなげていける。それがトッパンが考えるストーリーです。



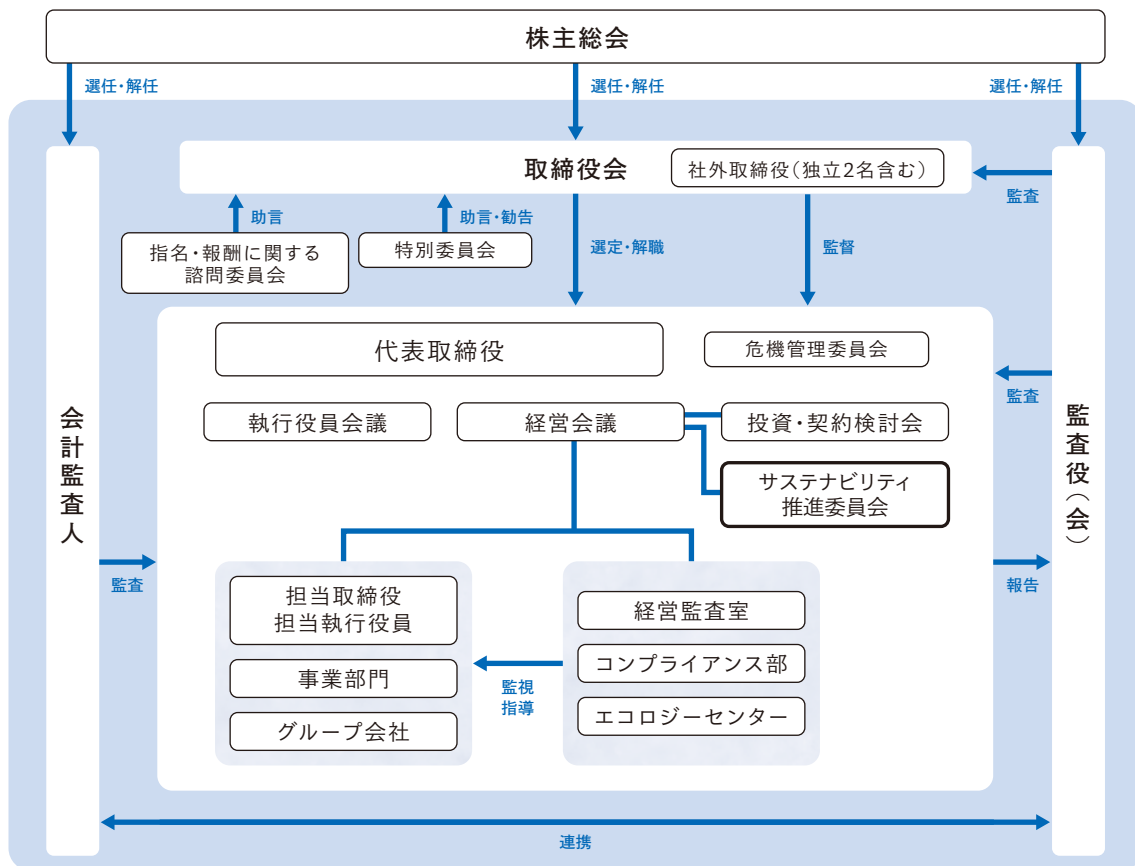
SDGs推進体制

本ステートメントで示したSDGsのマテリアリティを、今後、各部門において戦略的に推進し、定期的にフォローアップと検証を行うための「SDGs推進体制」を整えました。

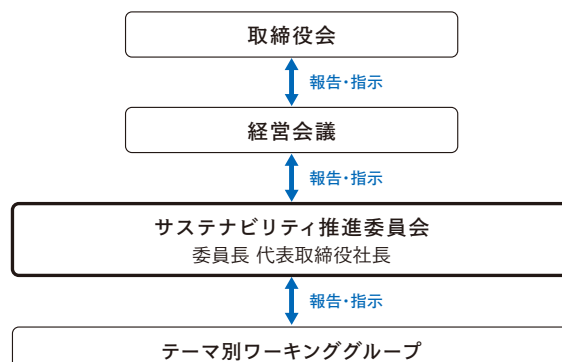
推進体制

SDGs推進に向けて、代表取締役社長を委員長とするサステナビリティ推進委員会を設置します。推進委員会は、関連部門担当役員で構成され、SDGsの各マテリアリティの進捗や今後の進め方についての審議を行い、経営会議を通じ、取締役会に報告・提言します。取締役会による活動の方向性の決定を受け、推進委員会は各関連部門による施策の立案・実行を促進します。

コーポレートガバナンス体系図におけるサステナビリティ推進委員会の位置づけ



SDGsを含むサステナビリティ推進体制



SDGs達成に向けたリスクチェック

トッパンは、TOPPAN VISION 21の行動指針に則り、人権や環境に配慮した企業活動を推進してきました。これからも、調達先・投資先企業に対する「SDGsに関するリスクリスト」によるチェックを投資および契約の意思決定に活かし、サプライチェーン全体のサステナビリティの向上を図ります。

SDGsに関するリスクリスト

| 分野 | 原則・チェック項目 | |
|--|--|---|
| 人権 | 人間尊重の考え方を基本とし、一人ひとりの個性や能力が最大限に発揮されるよう行動する。基本的人権を尊重し、あらゆる場面において個人の尊厳を守り、いかなる差別行為も行わない | |
| | 労働 | 児童労働、強制労働の禁止、差別の禁止、ハラスメント行為の禁止など |
| 環境 | 環境関連法令の遵守、大気・水質・土壌の汚染防止、資源の使用と排出の継続的な測定・評価等を通じ、環境負荷の軽減に努める | |
| | エネルギー | 設備更新案件について、更新前後の電力消費量の改善値を明確にすること |
| | 大気 | 設備投資案件について、大気汚染防止法を遵守していること |
| | | 設備更新時は、CO ₂ 削減量、NO _x 削減量、VOC削減量を明確にすること |
| | 水 | 水質汚濁防止法、下水道法を遵守していること |
| 水質(BOD、COD)の改善値を明確にすること ※BOD: Biochemical Oxygen Demand(生物化学的酸素要求量) ※COD: Chemical Oxygen Demand(化学的酸素要求量) | | |
| 社会・地域 | 騒音、振動、悪臭防止関連法、規制の遵守 | |
| 腐敗防止 | 贈収賄、汚職、不適切な利益の供与・受領、強要、横領などを禁止 | |

2030年に向けた取り組み

社会や地球の姿は急速に変化しており、私たちは次々と発生する様々な問題に直面しています。そうした問題に対して、進化するテクノロジーが解決への道筋を示してくれることもあります。そこでは、日々変わっていく状況に対し、常に新たな解決方法を模索するという不断の努力が重要です。

同じように、SDGsが提示する2030年に向けての課題へのアプローチも、時代の変化を捉えて常に変わり続けるべきでしょう。

私たちは、このステートメントでお伝えした取り組みに日々向き合い、歩み続けるとともに、社会の変化に合わせた課題設定の見直しや、より具体的な目標に進化させるための活動を継続的に実施してまいります。

そして、長期的な視点からSDGsの目標について検討を続け、トッパングループ全体で共有をすすめ、また経営戦略にサステナビリティの視点を組み込むことにより、持続可能な事業活動を推進いたします。

私たちのこの活動の成果と進捗については、今後もステークホルダーの皆さまに向けて、統合レポートやサステナビリティレポートなどで報告してまいります。



本冊子は、SDGsと紐づくGold Standard CDMクレジット(ブラジルにおけるFSC認証の木材チップによる発電事業)を用いてライフサイクル全体のカーボン・オフセットをしました



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



凸版印刷株式会社

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地
<https://www.toppan.co.jp/>